

## 5月中旬の瑞穂公園の野草

目的：班で協力して、瑞穂公園り深く総合的に理解すること

目標：5種類以上の標本をつくり、新しい発見や疑問を別紙1枚でレポートすること

### 1 準備するもの

	生徒	学級担任
1	別紙レポート『5月中旬の瑞穂公園の野草を調べよう』 → 当日の天気を見てから当日1時間目に印刷、職員室前のロッカーに入れておきます → このレポートは総合学習 評価資料の1つとしてお使いください	・時計（腕時計など）
2	セロハンテープ	
3	筆記用具	
4	（希望者は植物図鑑、理科便覧、教科書などの資料。デジカメは不可）	

### 2 生徒の服装

学生服、または、体育の服（学級単位でご判断ください）。帽子は原則不可（理科と同じ）

### 3 日程

時間	生徒の活動
0	<p><b>0</b> 3組（理科担任：大石先生）は牧野先生と福地で引率します。</p> <p><b>1</b> クラス単位で、正門に整列→ 集合→ 点呼</p> <p><b>2</b> 学級委員先頭で、瑞穂公園へ移動 ※ 車道を歩かない、信号の手前は小さくまとまる、早足で歩いた方が間延びしない</p> <p><b>3</b> 瑞穂公園入り口で再集合→ 人数確認</p> <p><b>4</b> （必要があれば）学級担任からの諸注意（全て指示しておきます） ※ 必ず、斑で行動する。このとき、4月下旬実施の理科の授業プリント no.4『瑞穂公園の野草』の変化を調べるように指示すれば、各班員が調べたポイントを再調査することになる。少なくとも男女で違うポイントを教えあうことになるだろう。「ヘビイチゴの実は食べて良い」と指示してあります。ただし、数個まで。1年生は234人います。その他の植物も必要最小限量にとどめ、未知の生物を食べない。 ※ 活動範囲は別紙参照（これも瑞穂公園の現場で直接指示してあります）</p>
10分	<p><b>5</b> 自然体験学習（標本づくり）開始 ※ 学級担任は巡回指導。本部は林先生と前田先生。福地は3組に同行。</p>
35分	<p><b>6</b> 自然体験学習終了</p> <p><b>7</b> クラス単位で、瑞穂公園の入り口に集合 ※ 理科の授業では再集合していません。クラス状況で「クラス集合」にして頂いて良いと思います。その場合、事前にお知らせください。50'sで追い出し、最終確認します。</p>
45分	<p><b>8</b> 各クラスに集合</p>